

第 4 章

教育評価実施要項

平成18年7月

国立大学法人小樽商科大学

はじめに

この教育評価実施要項は、平成17年2月7日の教育研究評議会において了承された「大学評価実施規程」第11条の解釈である「自己点検・評価の評価事項及び評価項目」に基づき、本学の中期目標・中期計画（6年間）をも踏まえて教育活動等の自己評価を実施するためのものです。

本要項は、「教育評価の必要性」、「教育評価の評価項目」、「実施主体」、「自己評価の方法」、「自己評価書の様式」、「改善のためのフィードバック」、「公表と外部評価」で構成されています。「教育評価の必要性」では、現在の大学における教育評価の必要性が説明されます。「教育評価の評価項目」では、評価項目が提示されます。「実施主体」では、評価項目毎に自己評価すべき学内部局が提示されます。「自己評価の方法」では、評価の観点及び自己評価の方法等が具体的に説明されます。「自己評価書の様式」では、自己評価を記述するための様式が例示されます。「改善のためのフィードバック」では、自己評価を通して改善点等が改善計画に集約されることの意義が説明されます。「公表及び外部評価」では、評価結果の公表方法及び学外の諸評価への活用方法が示されます。

巻末には別紙1として自己評価作業をサポートする「様式記入の手引き」が用意されています。また、別紙2として「評価項目別教育評価実施主体一覧」が、さらには別紙3として「大学評価実施規程」が掲載されています。本要項を基に適切な自己評価を実施してください。

目 次

．教育評価の必要性	7
．教育評価の評価項目	7
．実施主体	1 1
．自己評価の方法	1 3
．自己評価書の様式	1 3
．改善のためのフィードバック	1 5
．公表と外部評価	1 5
別紙 1 「様式記入の手引き」	1 9
別紙 2 「評価項目別教育評価実施主体一覧」	9 9
別紙 3 「大学評価実施規程」	1 0 7

・教育評価の必要性

法人化後、国立大学法人は自主・自律による運営に任されることになり、同時に、自主・自律による大学運営が評価され、評価の如何が運営費交付金など財政面を含めて大学の命運を大きく左右することとなりました。

本学はすでに1994年に自己点検・評価を実施(成果は『北に一星あり』(第2集)に掲載)して以来、2000年度には大学評価・学位授与機構(以下「機構」)による全学テーマ別評価「教育サービス面における社会貢献」、さらに2001年度には同じく「機構」による全学テーマ別評価「教養教育」、2002年度にも「機構」による分野別教育評価「経済学系」を受けてきたところであり、教育評価も含めて連続的に第三者評価の経験を積んできております。しかしこの度は、これら従来の実績を踏まえながら、国立大学法人の制度設計に対応した「教育評価」についての自己点検・評価の体制を構築することが課題となります。

本学は、中期計画において「教育の成果・効果の検証に関する具体的方策」として「教育の成果に関する自己点検・評価及び外部評価を実施する」(- 1 - (1) および)ことを掲げ、また「教育活動の評価及び評価結果を質の改善につなげるための具体的方策」として「教育の質と成果に関する外部評価を実施する」(- 1 - (3))ことを掲げております。本学は国立大学法人として教育評価を実施し、公共機関として社会に対する説明責任を果たす必要があります。

・教育評価の評価項目

本学の理念と教育目標

本学は、国立大学法人小樽商科大学憲章において、教育研究機関としての使命を、自由な学風と実学重視の精神を継承・発展させて「複雑高度化した現代社会の多元的な問題解決への貢献と人類普遍の真理探求」を希求すべきことに置き、また中期目標前文では、本学の目標として、実学重視の伝統と商科系単科大学としての特徴を活かしながら「経済社会の発展と地域社会の活性化に貢献し、延いては文化・人類の発展に寄与し得る研究と人材の育成」に貢献すべきことを掲げております。

実践性・総合性・国際性という根本志向に還元されるこのような本学伝統の目的・目標は、「憲章」で謳う本学の教育目標の基底を成すものでもあります。

【学部教育の目標】 学部教育の目標として、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、専門的知識のみならず、広い視野と高い倫理観を身につけた、指導的役割を果たすことのできる人材の育成を図る。

【大学院教育の目標】 大学院教育の目標として、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、研究者としての基礎的教育を行うのみならず、現代社会の諸分野において貢献し得る高度な専門的知識を有する職業人の育成を図る。

教育評価項目

この教育目的・目標に則って、本学の教育活動が実施されているか否かを評価するに当たって、以下の諸点が特に考慮されています。

1. 本学の教育を担う教員が本学の教育の目的・目標を共有しているか、また目的・目標が社会に認知されているか
2. 教育目標に適った教育課程を遂行するに当たって、教員の配置、教員の採用と昇任、教員の教育活動の評価は適切に行われているか
3. 教育目標に適った明確なアドミッション・ポリシーを持ち、それに即した選抜を実施しているか
4. 教育課程の編成が体系的であり、授業内容と授業形態とが整合的であり、また、成績評価が適切に行われているか
5. 学力・能力・人材像などの教育的成果について達成目標を掲げ、これら成果を在学中および卒業後に検証する仕組みを持っているか
6. 教育活動について自己点検・評価し、その質の改善・向上を図るための全学的な仕組が整備され、機能しているか

以下に示す教育の評価項目のシステムは、上記の六つの視点を中核とし、本学の自己評価事項・項目の精解である「自己点検・評価の評価事項及び評価項目」^(注)の教育関連部分を主内容として、大項目、中項目、小項目に分節・編成されています。因みにこれら諸項目は、本学が自ら定めた中期目標・計画と概ね重なっています。(下記一覧表では、大項目は1・2・...で、中項目は(1)、(2)・・・で、小項目は、...で示してあります)

(注) 本学の「大学評価規程」第11条第1項で規定されている「自己評価の実施事項」に基づいて制定されている。

教育評価項目一覧

【大項目(「1.」...)、中項目(「(1)」...)、小項目(「」...)】

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 教育目的・目標の周知2. 教員及び教育支援者<ol style="list-style-type: none">(1) 教育課程遂行のために必要な教員の適切な配置
教員組織編成の基本方針の策定とそれに基づく教員組織編成
教育課程遂行のための教員の確保
教員組織の活動を活性化するための措置(2) 教員の採用・昇任等の基準の策定とその適切な運用
教員の採用基準や昇任基準の明確化とその適切な運用
教育上の指導能力に関する評価を実施するための体制整備と機能の状況(3) 教員の教育活動を評価し、改善するための体制の整備
教員の教育活動を評価するための体制の整備
教員の教育活動の評価に基づきその質の向上を図るためのシステムの整備(4) 教育の内容と関連する研究活動の実施状況(5) 教育支援者の適切な配置、教育補助者の適切な活用 |
|--|

3. 学生の受入

- (1) 教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシー - の明確化とその周知・公表
教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシー - の明確化
アドミッション・ポリシー - の周知・公表
- (2) アドミッション・ポリシー - に沿った入学者選抜の実施
アドミッション・ポリシー - と入学者選抜方法の整合性
入学者選抜の実施体制の適切さと入学者選抜の公正な実施
アドミッション・ポリシー - に沿った学生の受入れの検証とその結果のフィードバック
- (3) 志願者の増加を図るための措置の実施
- (4) 上記(1)(2)(3)を機動的・専門的に実施するための措置
- (5) 入学定員と比較した実入学者の適正数

4. 教育の内容及び方法

(学士課程)

- (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容，水準，学位名の適切性
授業科目の適切な配置と教育課程の体系性の確保
教育課程の編成と授与する学位との整合性
授業内容と教育課程編成の趣旨との整合性
授業内容への研究活動の成果の反映
学生のニーズ，学術の発展動向，社会的要請に応じた教育課程の編成（インターンシップによる単位認定，編入学への配慮，博士前期課程との連携等）
単位の実質化への配慮
夜間主コースの学生に配慮した時間割の設定
- (2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備
各種授業形態（講義，演習，実験，実習等）の適切性
教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫
適切な内容のシラバスの作成とその有効活用
自主学習及び基礎学力不足の学生に対する組織的な配慮
- (3) 適切な成績評価等の実施
成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知
成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性，厳格性の確保
成績評価の正確性を担保するための措置

(大学院課程)

- (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容，水準，学位名の適切性
教育の目的・学位に照らした教育課程の体系的編成と目的とする学問分野や職業分野における期待との整合性
教育課程の編成と授与する学位との整合性
授業内容と教育課程の編成の主旨との整合性
授業内容への研究活動の成果の反映
単位の実質化への配慮
夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定

- (2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備
 - 各種授業形態（講義，演習，実験，実習等）の適切性
 - 教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫
 - 適切な内容のシラバスの作成とその有効活用
- (3) 適切な研究指導の実施
 - 教育課程の趣旨と研究指導の整合性
 - 研究指導に対する適切な取組（複数教員による指導体制や研究テーマ決定に対する適切な指導等）の実施
 - 学位論文に関する指導体制の整備
- (4) 学生の研究意欲を刺激するための制度の創設
- (5) 適切な成績評価等の実施
 - 成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知
 - 成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性，厳格性の確保
 - 学位論文の適切な審査体制の整備
 - 成績評価の正確性を担保するための措置
- （専門職大学院課程）**
- (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容，水準，学位名の適切性
 - 教育課程の体系的編成と教育の目的との整合性
 - 教育課程の編成と授与する学位との整合性
 - 授業内容と教育課程の編成の主旨との整合性
 - 授業内容への研究活動の成果の反映
 - 単位の実質化への配慮
 - 夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定
- (2) 教育課程と当該職業分野における期待との整合性
 - 教育課程と当該職業分野における期待との整合性
 - 教育内容の水準と当該職業分野における期待との整合性
- (3) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備
 - 各種授業形態（講義，演習，実験，実習等）の適切性
 - 教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫
 - 適切な内容のシラバスの作成とその有効活用
- (4) 適切な成績評価等の実施
 - 成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知
 - 成績評価基準に従った成績評価の実施。一貫性，厳格性の確保
 - 成績評価の正確性を担保するための措置
- 5．教育の成果の検証**
- (1) 学生に身につけさせる学力，資質・能力や養成する人材像等についての方針の明確化及びその達成状況を検証・評価するための取組
- (2) 単位取得，進級，卒業（修了）の状況，資格取得の状況，及び卒業論文（学位論文）の内容・水準から判断する教育の成果・効果の検証
- (3) 学生による授業評価の結果等による教育の効果についての学生自身の判断の検討

- (4) 卒業（修了）後の進路状況の実績や修了生の終了後の研究活動の実績による教育の効果の検証
- (5) 卒業生（修了生），雇用主等の関係者からの卒業生（修了生）の学力，資質・能力等に関する意見の聴取，及びそれによる教育の効果の検証
- 6．教育の質の向上及び改善のためのシステム**
- (1) 教育の状況について点検・評価し，その結果をフィードバックする体制の整備
 すべての大学組織単位による教育の全分野にわたる自己評価体制の整備
 授業評価等による学生の意見の聴取と学生の評価結果を大学の自己評価に反映させる体制の整備
 学生の授業評価等の分析と個々の教員へのフィードバック
 学外関係者の意見を大学の自己点検・評価に反映させる体制の整備
 評価結果をフィードバックするシステムの整備
 評価結果に基づく個々の教員の授業内容等の改善への取組
- (2) 教員，教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組
 ファカルティ・ディベロプメントの組織的取組
 ファカルティ・ディベロプメントの効果の検証
 教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組

．実施主体

この要項でいう実施主体とは，関係する評価項目について自己評価する学科等，センター，委員会，事務部門を指します。ちなみに，ここでいう学科等とは，経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，アントレプレナーシップ専攻を表します。また各実施主体が担当すべき評価項目は，次頁の「教育評価実施主体一覧表」において 印で示す通りです。

．自己評価の方法

各実施主体は、担当する評価項目について、留意点を踏まえ3つの観点に照準を据えて自己評価を行ってください。

- a 現在の状況
- b 分析結果とその根拠理由
- c 優れた点及び改善を要する点

観点aでは、当該項目をめぐる現在の状況について、本学の教育目的・目標との関連をも踏まえながら分析・記述してください。その際、当該項目に関わる取組や活動の内容等が明らかになるように、根拠資料やデータ等を可能な範囲で示しつつ、これまでの経過や過去の状況をも含めて適切に記述してください。

観点bでは、観点aについての分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を、観点aに記載した根拠資料・データ等を例示しつつ記述してください。

観点cでは、観点a・bの分析の中から、目的・目標との関連において特に「優れた点」及び「改善を要する点」を取り出して記述してください。

なお、観点aで示されるべき根拠資料及びデータは、別紙1「様式記入の手引き」に評価項目ごとに例示されていますので参照してください。

．自己評価書の様式

各実施主体は、担当の評価項目について別紙1の「様式記入の手引き」を参照しつつコンピュータ画面の様式に自己評価を記入してください。完成された自己評価書は大学評価委員会へ提出してください。大学評価委員会は各実施主体から提出された自己評価書をとりまとめ、調整のうえ最終的に本学の教育評価に関する自己評価書を作成します。

様式例

2. 教員及び教育支援者

(1) 教育課程遂行のために必要な教員の適切な配置

教員組織編成の基本方針の策定とそれに基づく教員組織編成

留意点

本学の教員組織編成は本学の教育目的を達成するに相応しいものになっているかについて分析・記述してください。

a 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

根拠資料及びデータ等
(出典)

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠となる資料・データ等は、状況説明等との関連が容易に確認できる位置に記載してください。(データ名・出典を必ず明記してください。)

b 分析結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

・改善のためのフィードバック

周知のように自己評価は、本来、本学の活動の改善すべき点を発見し、これに対して適切な改善を施すための契機を成すものです。各評価項目の観点に「優れた点及び改善を要する点」を設けている理由もここにあります。各実施主体は自己評価に臨んで、積極的に改善点を発見するよう努めて下さい。

また、大学評価委員会は、各実施主体が実施した自己評価の内容を精査し、大学全体の立場から各実施主体が気づかなかった改善点を指摘し、改善計画の提出を求める場合があります。

・公表と外部評価

この教育に関わる自己評価の評価結果は、本学の自己点検評価報告書「北に一星あり」として取りまとめ、社会に対して公表します。

また、この自己評価報告書を用いて外部評価（自己評価に関する外部者による検証）を受ける予定です。さらには法令に基づく機関別認証評価及び中期計画・目標に係る法人評価を受ける際にも、この報告書は自己評価書として使用されます。

別紙 1

様式記入の手引き

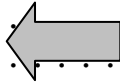
1. 教育目的・目標の周知

留意点

本学の教育を担う教員が本学の教育の目的・目標を共有しているか、またこの目的・目標が社会に認知されているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

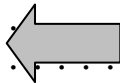


教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
教育目的，目標を周知するための組織体制に関する
規程等の文書，組織図等
取組及び実績を示す冊子やHPの該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

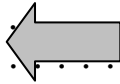


分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

(改善を要する点)
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....



観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体			
学科等	センター等	委員会等	事務
		大学評価委員会	

2. 教員及び教育支援者

(1) 教育課程遂行のために必要な教員の適切な配置
 教員組織編成の基本方針の策定とそれに基づく教員組織編成

留意点

本学の教員組織編成は、本学の教育目的を達成するに相応しいものになっているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

根拠資料及びデータ等
 教員組織編成の基本方針
 学科や専攻等ごとの教員の配置状況

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
			総務課人事係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

2. 教員及び教育支援者

(1) 教育課程遂行のために必要な教員の適切な配置
教育課程遂行のための教員の確保

留意点

本学の「目的」や「教員組織編成のための基本的方針」に照らして、必要な教員が(質,量の両面において)確保されているかについて分析・記述してください。また大学設置基準第13条別表第一に照らして必要な教員数が確保されているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

根拠資料及びデータ等

学科や専攻等ごとの教員の配置状況

学科等ごとの専任教員数(学士課程)

専攻等ごとの研究指導教員数及び研究指導補助教員数(大学院課程)

専攻等ごとの専任教員数及び実務経験教員数(専門職大学院課程)

実務経験教員の実務経験が把握できる資料(専門職大学院課程)

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点aの分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
			総務課人事係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

2. 教員及び教育支援者

(1) 教育課程遂行のために必要な教員の適切な配置
教員組織の活動を活性化するための措置

留意点

本学の目的や状況に応じ、教員組織の活動をより活性化させるための適切な措置が講じられているかについて、年齢構成への配慮、外国人教員の確保、公募制や任期制の導入などの実績も含めて、具体的に分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

教員組織の活動をより活性化するための適切な措置が把握できる資料

教員年齢構成や性別構成の一覧

外国人教員や実務経験教員の確保がなされている場合には、外国人教員や実務経験教員の任用状況

任期制や公募制を導入している場合には、その実施状況及び規則

優秀教員評価制度を導入している場合には、その概要及び実施状況

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
			総務課人事係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

2. 教員及び教育支援者

(2) 教員の採用・昇任等の基準の策定とその適切な運用
 教員の採用基準や昇任基準の明確化とその適切な運用

留意点

明文化された教員の採用基準や昇格基準について、もしくはかりにそうしたものが無い場合でも教員の選考に関する規程等が定められていればそれについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

教員の採用基準，昇格基準
 学士課程における教育上の指導能力に関する評価の実施状況を把握できる資料
 大学院課程における教育研究上の指導能力に関する評価の実施状況を把握できる資料

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		大学評価委員会	総務課人事係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

2. 教員及び教育支援者

(3) 教員の教育活動を評価し、改善するための体制の整備
 教員の教育活動を評価するための体制の整備

留意点
 教員の教育活動を評価するための体制の整備状況について分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 授業評価アンケート等の実施状況
 教育活動に関する自己評価の実施状況
 大学内部の自己評価委員会等の活動実績と規則、議事録等

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	教育開発センター	大学評価委員会	総務課人事係 学務課教育課程改善係

2. 教員及び教育支援者

(3) 教員の教育活動を評価し、改善するための体制の整備

教員の教育活動の評価に基づきその質の向上を図るためのシステムの整備

留意点

教育活動上の問題点等を収集し、それを有効に改善に結び付けるシステムについてデータを用いて分析・記述してください。

また、実施組織における改善を図るための活動状況等についてデータを用いて分析・記述してください。

なお、問題点等の把握を改善に結び付けた事例があればデータを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
授業評価アンケート等の実施状況
教育活動に関する自己評価の実施状況
大学内部の自己評価委員会等の活動実績と規則，議事録等

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

(改善を要する点)

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	大学評価委員会	学務課教育課程改善係

2. 教員及び教育支援者
 (5) 教育支援者の適切な配置, 教育補助者の適切な活用

留意点
 教育課程を展開する上で必要な教務関係の事務職員, 教育活動に携わる技術職員等, 並びにT A等の教育補助者の配置状況及び活用状況について分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 教務関係事務組織図及び事務職員の配置状況が把握できる資料
 教育活動に関わる事務分掌が把握できる資料
 教育活動に関わる技術職員, T A等の配置状況, 活用状況が把握できる資料

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	/	総務課人事係 学務課大学院係

3. 学生の受入
 (1) 教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシーの明確化とその周知・公表
 教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシーの明確化

留意点
 アドミッション・ポリシー(教育の目的に沿って求める学生像や入学者選抜方針を定めた基本政策)が明確に定められているか、それはどのようなものかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 アドミッション・ポリシー本文
 入試説明会時の資料，学生募集要項等，アドミッション・ポリシーが記載されている刊行物の該当箇所
 アドミッション・ポリシーが記載されているホームページの掲載箇所
 公表・周知の程度や効果を示すデータ（刊行物の配布先，配布数，ホームページの利用状況等）

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		入学試験委員会	入試課入学試験係

注：実施主体委員会等欄の入学試験委員会は、学部，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

3. 学生の受入
 (1) 教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシーの明確化とその周知・公表

アドミッション・ポリシーの周知・公表

留意点

アドミッション・ポリシーが学内関係者等に対して周知されているか、とりわけ刊行物の配布やウェブサイトへの掲載などの方法により積極的かつ組織的に周知が図られているか、またその試みはどの程度効果を上げているかについて、データを挙げて分析・記述してください。

また、アドミッション・ポリシーが学外の関係者等に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載などの方法により積極的かつ組織的に行われているか、またその試みがどの程度効果を上げているかについて、データを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 アドミッション・ポリシー本文
 入試説明会時の資料、学生募集要項等、アドミッション・ポリシーが記載されている刊行物の該当箇所
 アドミッション・ポリシーが記載されているホームページの掲載箇所
 公表・周知の程度や効果を示すデータ（刊行物の配布先、配布数、ホームページの利用状況等）

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

 (改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		入学試験委員会	入試課入学試験係

注：実施主体委員会等欄の入学試験委員会は、学部、現代商学専攻、アントレプレナーシップ専攻を表す。

3. 学生の受入
 (2) アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜の実施
 アドミッション・ポリシーと入学者選抜方法の整合性

留意点
 「求める学生」を適切・有効に見出すための受入方法が採用されているか、また、それは実質的に機能しているかについて分析・記述して下さい。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 入学者選抜要項
 入学試験実施状況
 面接要領
 過去3年程度の入試問題

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
 (優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		入学試験委員会	入試課入学試験係

注：実施主体委員会等欄の入学試験委員会は、学部，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

3. 学生の受入
 (2) アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜の実施
 アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入の検証とその結果のフィードバック

留意点
 アドミッション・ポリシーに沿った学生の受け入れ状況を検証する取り組みについてデータを用いて分析・記述してください。また、検証の結果を入学者選抜にどのような形でフィードバックさせたかについて、それが分かるデータを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学生の受入状況を検証し、入学者選抜にフィードバックを図るための会議等の規則
 学生の受入状況を検証し、入学者選抜にフィードバックを図ったことを示す議事録等

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		入学試験委員会	入試課入学試験係

注：実施主体委員会等欄の入学試験委員会は、学部、現代商学専攻、アントレプレナーシップ専攻を表す。

3. 学生の受入
 (3) 志願者の増加を図るための措置の実施

留意点
 志願者の増加を図るために実施されている措置について分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 入試広報・高大連携議事要旨
 大学説明会開催資料等
 社会人、留学生、編入学生等のための入学者選抜要項、入学試験実施状況等

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		入学試験委員会	入試課入学試験係

注：実施主体委員会等欄の入学試験委員会は、学部、現代商学専攻、アントレプレナーシップ専攻を表す。

3. 学生の受入
 (5) 入学定員と比較した実入学者の適正数

留意点
 入学定員と比較した実入学者の適正数について分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 入学者の状況（入学定員，志願者数，受験者数，合格者数，入学者数等）を示す資料
 学生の受入状況を検証し，入学者選抜の改善を図ったことを示す議事録等

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		入学試験委員会	入試課入学試験係

注：実施主体委員会等欄の入学試験委員会は，学部，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
 (学士課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 授業科目の適切な配置と教育課程の体系性の確保

留意点
 教育の目的及び授与される学位に照らして, それにふさわしい教育課程となっているか, とりわけ基礎的内容と高度な内容との混在を排除するなど, 教育の効果が見込める教育課程を体系的に編成しているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 授業科目の開設状況 (コース, 教養・専門基礎・専門等の分類, 年次配当, 必修・選択等の別)
 授業時間割
 履修モデル, コースツリー等

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科を表す。

4. 教育の内容及び方法
 (学士課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 教育課程の編成と授与する学位との整合性

留意点
 教育課程の編成と授与する学位との整合性について分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

根拠資料及びデータ等
 授業科目の開設状況 (コース, 教養・専門基礎・専門等の分類, 年次配当, 必修・選択等の別)
 履修モデル, コースツリー等

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。
 取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科を表す。

4. 教育の内容及び方法
 (学士課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 授業内容と教育課程編成の趣旨との整合性

留意点
 教育課程の編成の趣旨を明らかにし, 授業科目の内容が教育課程の編成の趣旨に沿っているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 授業科目案内, 履修要項, シラバス等, 授業内容が把握できる資料等の該当箇所
 教材, 授業で使用したプリント等
 授業時間割

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	教務委員会(学部)	学務課教務係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科, 商学科, 企業法学科, 社会情報学科, 一般教育系, 言語センターを表す。

4. 教育の内容及び方法
 (学士課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 授業内容への研究活動の成果の反映

留意点
 研究活動の成果が授業内容にどのように反映しているかについて, 特徴的ないくつかの事例を挙げ資料・データを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 研究活動の成果を反映していることが把握できる資料 (授業内容を示したシラバス, 教材, 授業で使
 したプリント等)

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会 (学部)	学務課教務係

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センターを表す。

4. 教育の内容及び方法
(学士課程)
(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
学生のニーズ, 学術の発展動向, 社会的要請に応じた教育課程の編成 (インターンシップによる単位認定, 編入学への配慮, 博士前期課程との連携)

留意点
学生の多様なニーズ, 学術の発展動向, 社会からの要請等に対応して「インターンシップによる単位認定, 編入学への配慮, 博士前期課程との連携等」教育課程の編成に関わる多くの試みが大学で行われています。こうした面での本学の取り組みについて分析・記述してください。

a. 現在の状況
.....
.....
.....

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
.....
..... 他学部の授業科目の履修を認めている場合には, その実施状況が把握できる資料やそれに関する規則等
..... 他大学との単位互換を実施している場合には, その実施状況が把握できる資料やそれに関する規則, 協定書等
..... インターンシップを実施している場合には, その実施状況が把握できる資料やそれに関する規則等 (実施要項, 提携・受入企業, 派遣・単位認定実績等)
..... 補充教育を実施している場合には, 補習授業の実施状況が把握できる資料 (対象者, 開設科目, 時間割等)
..... 編入学生への配慮を行っている場合には, 編入学に関する規定, 編入学生の単位認定の状況が把握できる資料
..... 修士 (博士前期) 課程教育との連携を実施している場合には, その実施状況が把握できる資料やそれに関する規則等

b. 分析の結果とその根拠理由
.....
.....
.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)
.....
(改善を要する点)
.....
.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係

4. 教育の内容及び方法

(学士課程)

(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容，水準，学位名の適切性
 単位の実質化への配慮

留意点

授業時間外の学習時間の確保，組織的な履修指導，履修科目の登録の上限設定など，学生の主体的な学習を促し，十分な学習時間を確保するような工夫について分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 授業時間外の学習のための工夫を実施している場合には，その実施状況が把握できる資料
 履修登録の上限設定を実施している場合には，その実施状況が把握できる資料
 GPA (Grade Point Average) 制度を導入している場合には，その実施状況が把握できる資料

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

 (改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会 (学部)	学務課教務係

4. 教育の内容及び方法
 (学士課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 夜間主コースの学生に配慮した時間割の設定

留意点
 夜間主コースの教育運営に当たって, 時間割の設定をはじめとして学生に配慮した円滑な教育が実施されているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

根拠資料及びデータ等
 授業時間割

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会 (学部)	学務課教務係

4. 教育の内容及び方法
(学士課程)
(2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態, 学習指導法の整備
各種授業形態 (講義, 演習, 実験, 実習等) の適切性

留意点
教育の目的に照らして十分な教育効果が得られるように, 授業形態 (講義, 演習, 実験, 実習等) の組合せ・バランスが適切なものになっているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

根拠資料及びデータ等
○学生便覧, シラバス, 授業科目案内, 履修要項等,
教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料
学習指導法の工夫が把握できる資料 (シラバス, 受講学生数 (履修学生数, 単位取得学生数) が把握できる資料, 該当する事柄を記した冊子等の資料)

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)

.....

(改善を要する点)

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係

4. 教育の内容及び方法
(学士課程)
(2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備
教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫

留意点
教育の目的に照らして，各科目で教育効果を高めるための適切な工夫が行われているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
○学生便覧，シラバス，授業科目案内，履修要項等，
教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料
学習指導法の工夫が把握できる資料（シラバス，受講学生数（履修学生数，単位取得学生数）が把握できる資料，該当する事柄を記した冊子等の資料）

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。
取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	教務委員会（学部）	学務課教務係

4. 教育の内容及び方法

(学士課程)

(2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備

適切な内容のシラバスの作成とその有効活用

留意点

適切な内容のシラバスが作成され，それが有効活用されているか，すなわち授業名，担当教員名，講義目的，各回ごとの授業内容，成績評価方法・基準，準備学習等についての具体的な指示，教科書・参考文献，履修条件等が記載されており，学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものとして，適切に作成されているかについて分析・記述してください。

根拠資料として，シラバスの該当箇所を抜粋してサンプル的に示しても構いません。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

根拠資料及びデータ等
シラバス
シラバス作成に関する規則

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(学部)	学務課教務係

4. 教育の内容及び方法
 (学士課程)
 (2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態, 学習指導法の整備
 自主学習及び基礎学力不足の学生に対する組織的な配慮

留意点
 授業形態や学習指導法等の視点から見て, 基礎学力不足の学生への配慮等が組織的に行われているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 図書館の利用時間の延長, 講義室利用許可制, 自習室の設置等, 自主学習への配慮が把握できる資料
 自主ゼミ等の活動促進のための施策
 補習授業の開講, 能力別講義の開講等, 基礎学力不足の学生への配慮が把握できる資料

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	教務委員会(学部) 図書館運営委員会	学務課教務係 附属図書館総務係

注: 実施主体学科等欄の は, 経済学科, 商学科, 企業法学科, 社会情報学科, 一般教育系, 言語センターを表す。

4. 教育の内容及び方法

(学士課程)

(3) 適切な成績評価等の実施

成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知

留意点

成績評価基準及び卒業認定基準について、成績評価方法(授業の出欠状況、レポート、中間テスト、最終試験の組合せにより、成績(優・良・可・不可等)を判定するといった成績評価方法)を含めて分析・記述してください。

またこのことについて、学生に対して刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載などの方法により周知を図っているか、それらの取組が積極的かつ組織的に行われているかについて分析・記述してください。なお、周知の程度が把握されてる場合には、そのデータを用いて周知への取り組みの効果について分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 成績評価基準，卒業認定基準
 成績評価基準及び卒業認定基準が学生に周知されていることを示すものとして、学生便覧，シラバス，オリエンテーション時の配布資料等の該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(学部)	学務課教務係

4. 教育の内容及び方法
(大学院課程)

(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
教育の目的, 学位に照らした教育課程の体系的編成と目的とする学問分野や職業分野における期待との整合性

留意点
教育の目的及び授与される学位に照らして, それにふさわしい教育課程となっているか, とりわけ基礎的内容と高度な内容との混在を排除するなど, 教育の効果が見込める教育課程を体系的に編成しているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

根拠資料及びデータ等
授業科目の開設状況(コース, 専門基礎・専門・共通等の分類, 年次配当, 必修・選択等の別)
授業時間割
履修モデル, コースツリー等

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

注: 実施主体学科等欄の は, 現代商学専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
(大学院課程)
(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
教育課程の編成と授与する学位との整合性

留意点
教育課程の編成と授与する学位との整合性について分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

根拠資料及びデータ等
授業科目の開設状況(コース, 専門基礎・専門・共通等の分類, 年次配当, 必修・選択等の別)
履修モデル, コースツリー等

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

注: 実施主体学科等欄の は, 現代商学専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
(大学院課程)

(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
授業内容と教育課程の編成の主旨との整合性

留意点
教育課程の編成の趣旨を明らかにし, 授業科目の内容が教育課程の編成の趣旨に沿っているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

根拠資料及びデータ等
授業科目案内, 履修要項, シラバス等, 授業内容が把握できる資料等の該当箇所
教材, 授業で使用したプリント等
授業時間割

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

注: 実施主体学科等欄の は, 現代商学専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
(大学院課程)
(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
授業内容への研究活動の成果の反映

留意点
研究活動の成果が授業内容にどのように反映しているかについて, 特徴的ないくつかの事例を挙げ資料・データを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
研究活動の成果を反映していることが把握できる資料(授業内容を示したシラバス, 教材, 授業で使ったプリント等)

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	

注: 実施主体学科等欄の は, 現代商学専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
(大学院課程)
(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
単位の実質化への配慮

留意点
授業時間外の学習時間の確保, 組織的な履修指導など, 学生の主体的な学習を促し, 十分な学習時間を確保するような工夫について分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
授業時間外の学習のための工夫を実施している場合には, その実施状況が把握できる資料
GPA (Grade Point Average) 制度を導入している場合には, その実施状況が把握できる資料

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
(大学院課程)
(1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定

留意点
夜間・週末・休暇中等の教育運営に当たっても, 時間割の設定をはじめとして学生に配慮した円滑な教育が実施されているかどうかについて分析してください。

a. 現在の状況

..... ←

根拠資料及びデータ等
授業時間割

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (大学院課程)

(2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備
 各種授業形態（講義，演習，実験，実習等）の適切性

留意点

教育の目的に照らして十分な教育効果が得られるように，授業形態（講義，演習，実験，実習等）の組合せ・バランスが適切なものになっているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

○シラバス，授業科目案内，履修要項等，教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料
 学習指導法の工夫が把握できる資料（シラバス，受講学生数（履修学生数，単位取得学生数）が把握できる資料，該当する事柄を記した冊子等の資料）

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

 (改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会（現代商学専攻）	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (大学院課程)
 (2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態, 学習指導法の整備
 教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫

留意点
 教育の目的に照らして, 各科目で教育効果を高めるための適切な工夫が行われているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 シラバス, 授業科目案内, 履修要項等, 教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料
 学習指導法の工夫が把握できる資料(シラバス, 受講学生数(履修学生数, 単位取得学生数)が把握できる資料, 該当する事柄を記した冊子等の資料)

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
 (優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(大学院課程)

(2) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備

適切な内容のシラバスの作成とその有効活用

留意点

適切な内容のシラバスが作成され、それが有効活用されているか、すなわち、授業名，担当教員名，講義目的，各回ごとの授業内容，成績評価方法・基準，準備学習等についての具体的な指示，教科書・参考文献，履修条件等が記載されており，学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものとして，適切に作成されているかについて分析・記述してください。

根拠資料として，シラバスの該当箇所を抜粋してサンプル的に示しても構いません。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
シラバス
シラバス作成に関する規則

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (大学院課程)
 (3) 適切な研究指導の実施
 教育課程の趣旨と研究指導の整合性

留意点
 研究指導が教育課程の趣旨に沿った基本方針や考え方に基づいて行われているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

根拠資料及びデータ等
 研究指導体制が把握できる資料(規則, 申し合わせ等)

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
 (優れた点)
 (改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

注: 実施主体学科等欄の は, 現代商学専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
(大学院課程)

(3) 適切な研究指導の実施

研究指導に対する適切な取組(複数教員による指導体制や研究テーマ決定に対する適切な指導等)の実施

留意点

教育目的に照らして、研究指導の取り組みが適切に行われているかどうかについて分析・記述してください。とりわけ研究テーマ決定について適切な指導が行われているかどうか、また、複数教員による指導体制を取っている場合にはそれが円滑に機能しているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....
.....
.....
.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

複数教員による指導を行っている場合には、その指導体制が把握できる資料
研究テーマ決定に対する指導を行っている場合には、その指導状況が把握できる資料
TA・RA としての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合には、TA・RA の採用、活用状況が把握できる資料

b. 分析の結果とその根拠理由

.....
.....
.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)
.....
(改善を要する点)
.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

注：実施主体学科等欄の は、現代商学専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
 (大学院課程)
 (3) 適切な研究指導の実施
 学位論文に関する指導体制の整備

留意点
 指導体制から論文指導に至るまでのプロセスについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学位論文に係る指導体制が把握できる資料(規則, 申し合わせ等)

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体			
学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

注：実施主体学科等欄の は、現代商学専攻を表す。

4. 教育の内容及び方法
 (大学院課程)
 (4) 学生の研究意欲を刺激するための制度の創設

留意点
 学生の研究意欲を刺激するために何か制度を創設していれば、その主旨と実施方法について説明してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学生の研究意欲を刺激するための制度等資料(大学院案内等)

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
 (優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(大学院課程)

(5) 適切な成績評価等の実施

成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知

留意点

成績評価基準及び卒業認定基準について、成績評価方法(授業の出欠状況、レポート、中間テスト、最終試験の組合せにより、成績[優・良・可・不可等]を判定するといった成績評価方法)を含めて分析・記述してください。また、このことについて、学生に対して刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載などの方法により周知を図っているか、それらの取組が積極的かつ組織的に行われているかについて分析・記述してください。なお、周知の程度が把握されてる場合には、そのデータを用いて説明してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 成績評価基準，卒業認定基準
 成績評価基準及び卒業認定基準が学生に周知されていることを示すものとして，シラバス，オリエンテーション時の配布資料等の該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(大学院課程)

(5) 適切な成績評価等の実施

成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性、厳格性の確保

留意点

成績評価等が成績評価等基準に従って適切におこなわれているか、実際の運用に当たってその厳格性や一貫性が確保されているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

実際の成績評価・単位認定方法が明示された資料の該当箇所
修了認定基準と修了認定をした学生の成績、学位論文等
科目毎の成績表
成績評価の分布表

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

(改善を要する点)

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(大学院課程)

(5) 適切な成績評価等の実施

学位論文の適切な審査体制の整備

留意点

審査体制から審査に至るまでのプロセスについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学位論文の審査体制，審査員の選考方法
 学位論文の審査基準，規則，申し合わせ等

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(大学院課程)

(5) 適切な成績評価等の実施

成績評価の正確性を担保するための措置

留意点

成績評価の正確性を担保するための何らかの措置が講じられていれば、その状況を示すデータを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

根拠資料及びデータ等
学生の意見の申立てに関する手続きが明示されている資料

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

.....

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
(専門職大学院課程)
(1) 教育目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の
適切性
教育課程の体系的編成と教育の目的との整合性

留意点
教育の目的及び授与される学位に照らして, それにふさわしい教育課程となっているか, とりわけ基礎的内容と高度な内容との混在を排除するなど, 教育の効果が見込める教育課程を体系的に編成しているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

根拠資料及びデータ等
授業科目の開設状況(コース, 専門科目の分類, 年次配当, 必修・選択等の別)
授業時間割
履修モデル, コースツリー等

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
(優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 教育課程の編成と授与する学位との整合性

留意点
 教育課程の編成と授与する学位との整合性について分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

根拠資料及びデータ等
 授業科目の開設状況(コース, 専門科目の分類, 年次配当, 必修・選択等の別)
 履修モデル, コースツリー等

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 授業内容と教育課程の編成の主旨との整合性

留意点
 教育課程の編成の趣旨を明らかにし, 授業科目の内容が教育課程の編成の趣旨に沿っているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

根拠資料及びデータ等
 授業科目案内, 履修要項, シラバス等, 授業内容が把握できる資料等の該当箇所
 教材, 授業で使用したプリント等
 授業時間割

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 授業内容への研究活動の成果の反映

留意点
 研究活動の成果が授業内容にどのように反映しているかについて, 特徴的ないくつかの事例を挙げ資料・データを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 研究活動の成果を反映していることが把握できる資料 (授業内容を示したシラバス, 教材, 授業で使ったプリント等)

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 単位の実質化への配慮

留意点
 授業時間外の学習時間の確保, 組織的な履修指導, 履修科目の登録の上限設定など, 学生の主体的な学習を促し, 十分な学習時間を確保するような工夫について分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 授業時間外の学習のための工夫を実施している場合には, その実施状況が把握できる資料
 履修登録の上限設定を実施している場合には, その実施状況が把握できる資料
 GPA (Grade Point Average) 制度を導入している場合には, その実施状況が把握できる資料

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (1) 教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性
 夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定

留意点
 夜間・週末・休暇中等の教育運営に当たっても, 時間割の設定をはじめとして学生に配慮した円滑な教育が実施されているかどうかについて分析してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 授業時間割

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (2) 教育課程と当該職業分野における期待との整合性
 教育課程と当該職業分野における期待との整合性

留意点
 当該職業分野から期待されていると考えられる事項を踏まえ、教育課程等を分析してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 ○カリキュラム、シラバス等、教育課程や教育内容の水準と当該職業分野の関連が把握出来る資料

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (2) 教育課程と当該職業分野における期待との整合性
 教育内容の水準と当該職業分野における期待との整合性

留意点
 当該職業分野から期待されていると考えられる事項を踏まえ、教育課程の水準を分析してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 カリキュラム、シラバス等、教育課程や教育内容の水準と当該職業分野の関連が把握出来る資料

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (3) 教育課程の展開にふさわしい授業形態, 学習指導法の整備
 各種授業形態(講義, 演習, 実験, 実習等)の適切性

留意点
 教育の目的に照らして十分な教育効果が得られるように, 授業形態(講義, 演習, 実験, 実習等)の組合せ・バランスが適切なものになっているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 シラバス, 授業科目案内, 履修要項等, 教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料
 学習指導法の工夫が把握できる資料(シラバス, 受講学生数(履修学生数, 単位取得学生数)が把握できる資料, 該当する事柄を記した冊子等の資料)

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (3) 教育課程の展開にふさわしい授業形態, 学習指導法の整備
 教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫

留意点
 教育の目的に照らして, 各科目で教育効果を高めるための適切な工夫が行われているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 シラバス, 授業科目案内, 履修要項等, 教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料
 学習指導法の工夫が把握できる資料(シラバス, 受講学生数(履修学生数, 単位取得学生数)が把握できる資料, 該当する事柄を記した冊子等の資料)

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
 (優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(専門職大学院課程)

(3) 教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備

適切な内容のシラバスの作成とその有効活用

留意点

適切な内容のシラバスが作成され、それが有効活用されているか、すなわち、授業名，担当教員名，講義目的，各回ごとの授業内容，成績評価方法・基準，準備学習等についての具体的な指示，教科書・参考文献，履修条件等が記載されており，学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものとして，適切に作成されているかについて分析・記述してください。

根拠資料として，シラバスの該当箇所を抜粋してサンプル的に示しても構いません。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
シラバス
シラバス作成に関する規則

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(専門職大学院課程)

(4) 適切な成績評価等の実施

成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知

留意点

成績評価基準及び修了認定基準について、成績評価方法(授業の出欠状況、レポート、中間テスト、最終試験の組合せにより、成績[優・良・可・不可等]を判定するといった成績評価方法)を含めて分析・記述してください。また、このことについて、学生に対して刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載などの方法により周知を図っているか、それらの取組が積極的かつ組織的に行われているかについて分析・記述してください。なお、周知の程度が把握されてる場合には、そのデータを用いて説明してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

.....

成績評価基準，修了認定基準
 成績評価基準及び修了認定基準が学生に周知されていることを示すものとして、シラバス，オリエンテーション時の配布資料等の該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

 (改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法

(専門職大学院課程)

(4) 適切な成績評価等の実施

成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性、厳格性の確保

留意点

成績評価等が成績評価等基準に従って適切におこなわれているか、実際の運用に当たってその厳格性や一貫性が確保されているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
実際の成績評価・単位認定方法が明示された資料の該当箇所
修了認定基準と修了認定をした学生の成績、学位論文等
科目毎の成績表
成績評価の分布表

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会（アントレプレナーシップ専攻）	学務課大学院係

4. 教育の内容及び方法
 (専門職大学院課程)
 (4) 適切な成績評価等の実施
 成績評価の正確性を担保するための措置

留意点
 成績評価の正確性を担保するための何らかの措置が講じられていれば、その状況を示すデータを用いて分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学生の意見の申立てに関する手続きが明示されている資料

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体			
学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会（アントレプレナーシップ専攻）	学務課大学院係

5. 教育の成果の検証

(1) 学生に身につけさせる学力、資質、能力や養成する人材像等についての方針の明確化、及びその達成状況を検証・評価するための取組

留意点

学生に身につけさせたい学力・能力や養成したい人材像等について明確な方針があれば分析・記述してください。また、この方針の達成状況を検証・評価するための取組、とりわけその実施体制や教育の成果を把握する方法等について分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

根拠資料及びデータ等
 方針が明示されている概要やホームページ等の該当箇所
 達成状況を検証・評価するための委員会等の組織体制、活動状況が把握できる規則、議事録等

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(学部) 大学院教務委員会	学務課教務係 学務課大学院係

注：実施主体委員会等欄の大学院教務委員会は、現代商学専攻、アントレプレナーシップ専攻を表す。

5. 教育の成果の検証

(2) 単位取得, 進級, 卒業(修了)の状況, 資格取得の状況, 及び卒業論文(学位論文)の内容・水準から判断する教育の成果・効果の検証

留意点

学生の在学中における学習状況から教育の成果や効果を分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

単位(学位)取得率, 進級率, 卒業率, 成績評価の分布表, 資格取得者数, 各種コンペティション等の受賞数, 卒業(修士・博士)論文, 卒業制作, 留年・休学・退学状況

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(学部) 大学院教務委員会	学務課教務係 学務課大学院係

注：実施主体委員会等欄の大学院教務委員会は，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

5. 教育の成果の検証

(3) 学生による授業評価の結果等による教育の効果についての学生自身の判断の検討

留意点

大学の意図する教育の成果・効果について「学生自身」がどのように判断しているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

根拠資料及びデータ等

学生又は卒業（修了）生による授業評価，学習達成度に関するアンケート調査資料，学生の満足度に関する調査結果等

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

(改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会（学部） 大学院教務委員会	学務課教務係 学務課大学院係

注：実施主体委員会等欄の大学院教務委員会は，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

5. 教育の成果の検証

(4) 卒業(修了)後の進路状況の実績や修了生の終了後の研究活動の実績による教育の効果の検証

留意点

卒業(修了)後の進路状況の実績や修了生の終了後の研究活動の実績について分析・記述することにより教育の成果・効果を検証してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

就職率, 進学率, 就職先, 進学先

研究活動の実績や成果を判断できる論文の投稿状況等

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	/	教務委員会(学部) 大学院教務委員会	学務課教務係 学務課大学院係

注：実施主体委員会等欄の大学院教務委員会は、現代商学専攻、アントレプレナーシップ専攻を表す。

5. 教育の成果の検証

(5) 卒業生(修了生), 雇用主等の関係者からの卒業生(修了生)の学力, 資質・能力等に関する意見の聴取, 及びそれによる教育の効果の検証

留意点

卒業生や修了生, 就職先等の関係者から, 教育の成果・効果についての意見を聴取するような取り組みを実施していますか。実施しているなら, そうした調査結果からの多少とも客観的なデータを基に教育の成果・効果が上がっているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

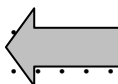
.....

.....

.....

.....

.....



教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等

卒業(修了)生に意見を聴取する機会(懇談会, アンケート, インタビュー等)の概要及びその結果が把握できる資料

進路先や就職先等の関係者に意見を聴取する機会(懇談会, アンケート, インタビュー等)の概要及びその結果が把握できる資料

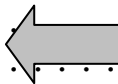
b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....



分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

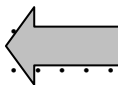
.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....



観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		教務委員会(学部) 大学院教務委員会	学務課教務係 学務課大学院係

注: 実施主体委員会等欄の大学院教務委員会は, 現代商学専攻, アントレプレナーシップ専攻を表す。

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(1) 教育の状況について点検・評価し、その結果をフィードバックする体制の整備

すべての大学組織単位による教育の全分野にわたる自己評価体制の整備

留意点

教育活動に関する基礎的なデータの蓄積に資する体制の整備状況・蓄積状況等について分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 教育活動の実態を示す資料・データ等の収集体制が把握できる資料
 教育活動の実態を示す資料・データ等の蓄積状況が把握できる資料
 自己点検・評価報告書の該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

 (改善を要する点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	大学評価委員会	

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，現代商学専攻，アントレプレナーシップ専攻を表す。

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(1) 教育の状況について点検・評価し、その結果をフィードバックする体制の整備

授業評価等による学生の意見の聴取と学生の評価結果を大学の自己評価に反映させる体制の整備

留意点

学生の意見聴取の内容・方法等（実施状況を含む）の状況を分析・記述してください。また、意見聴取を行った結果は、例えば授業評価、満足度評価、学習環境評価等の形で、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学生による授業評価報告書等
 学生からの意見聴取状況
 学生の意見が自己点検・評価報告書、外部評価報告書等に反映されている該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	大学評価委員会	

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，アントレプレナーシップ専攻を表す。

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム
 (1) 教育の状況について点検・評価し、その結果をフィードバックする体制の整備
 学生の授業評価等の分析と個々の教員へのフィードバック

留意点
 学生の授業評価等の結果を分析し、分析結果をさらに個々の教員へフィードバックする体制について分析・記述してください。

a. 現在の状況

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学生による授業評価報告書等
 学生の意見が自己点検・評価報告書、外部評価報告書等に反映されている該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点
 (優れた点)

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター	大学評価委員会	

注：実施主体学科等欄の は、経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科，一般教育系，言語センター，アントレプレナーシップ専攻を表す。

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(1) 教育の状況について点検・評価し、その結果をフィードバックする体制の整備

学外関係者の意見を大学の自己点検・評価に反映させる体制の整備

留意点

学外関係者の意見を大学の自己点検・評価に反映させる体制の整備状況について分析・記述してください。例えば卒業(修了)生や就職先等の学外関係者による意見聴取の内容・方法等(実施状況を含む)の状況を分析・記述し、教育の状況に関する自己点検・評価にどのような形で反映されているかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 学外関係者(卒業(修了)生, 進学先, 就職先等)からの意見聴取状況
 学外関係者の意見が自己点検・評価報告書, 外部評価報告書等に反映されている該当箇所

b. 分析の結果とその根拠理由

.....

.....

.....

.....

.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....

.....

.....

(改善を要する点)

.....

.....

.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		大学評価委員会	

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム
 (1) 教育の状況について点検・評価し、その結果をフィードバックする体制の整備
 評価結果をフィードバックするシステムの整備

留意点
 自己点検・評価や外部評価等による評価結果を、改善(継続的な方策の立案を含む)に結び付けるシステムの整備状況を分析・記述してください。また、把握した問題点等を教育の質の向上・改善に結び付けた具体的事例を分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
 各種委員会等の体制及び活動状況(組織相互関連図, 関係諸規則, 議事録(活動記録)等)
 評価結果を改善策に結び付ける制度を把握できる資料, 活動実績等

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		大学評価委員会	

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(1) 教育の状況について点検・評価し、その結果をフィードバックする体制の整備

評価結果に基づく個々の教員の授業内容等の改善への取り組み

留意点

自己点検・評価や外部評価等の評価結果を授業内容等の改善に結び付けようとする個々の教員の取り組みについて分析・記述してください。また、こうした取り組みを担保する制度について分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
評価結果の教員へのフィードバック状況等、改善のための評価活動が機能していることを把握できる資料
具体的改善方策の内容等（カリキュラムや授業方法改善例、授業内容、教材、教授技術等等）

b. 分析の結果とその根拠理由

.....
.....
.....
.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

.....
.....
.....

(改善を要する点)

.....
.....
.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
		大学評価委員会	

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(2) 教員，教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組
ファカルティ・ディベロップメントの組織的取組

留意点

ファカルティ・ディベロップメントの実施内容・方法及び実施状況（教員参加状況を含む）について分析・記述してください。また、ファカルティ・ディベロップメント活動自体が学生や教職員のニーズを把握し、個人ではなく、組織として適切に実施されているかどうかについて分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

根拠資料及びデータ等
学生や教職員のニーズを汲み上げる制度が把握できる資料
ファカルティ・ディベロップメント（教育方法等の研究・研修，教員相互の授業見学等）の内容・方法及び実施状況
ファカルティ・ディベロップメントへの教員の参加状況

教育目的・目標との関連を踏まえ、取り組みや活動の内容について、当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

b. 分析の結果とその根拠理由

.....
.....
.....
.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)
.....
.....
(改善を要する点)
.....
.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体			
学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター		

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(2) 教員，教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組
ファカルティ・ディベロップメントの効果の検証

留意点

問題点等の把握を教育の質の向上や授業の改善に結び付けた事例を
分析・記述してください。また，ファカルティ・ディベロップメント
の実施後，授業等の改善の方法にどのような変化が生じたかについて
分析・記述してください。

a. 現在の状況

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

教育目的・目標との関連を踏まえ，取り組みや活動の内容について，当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

根拠資料及びデータ等
授業評価報告書の該当箇所等，教育の質の向上や授業の改善が把握できる資料
具体的改善方策の内容（カリキュラムや授業方法改善例等）

b. 分析の結果とその根拠理由

.....
.....
.....

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに，それを導いた理由を記述してください。

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)
.....
.....
(改善を要する点)
.....
.....

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
	教育開発センター		

6. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(2) 教員, 教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組
教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組

留意点
教育支援者や教育補助者に対する研修等の内容・方法及び実施状況等について分析・記述してください。

a. 現在の状況

..... ←

教育目的・目標との関連を踏まえ, 取り組みや活動の内容について, 当該項目の状況が明確になるよう記述してください。

.....

根拠資料及びデータ等
教育支援者や教育補助者に対する研修等の内容・方法及び実施状況が把握できる資料

.....

b. 分析の結果とその根拠理由

..... ←

分析結果を分かりやすく明確に記述するとともに, それを導いた理由を記述してください。

.....

c. 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

..... ←

観点 a の分析の中から目標・目的との関連において「優れた点」「改善を要する点」を取り出して記述してください。取り出す事項がない場合は「該当なし」と書いてください。

(改善を要する点)

.....

実施主体

学科等	センター等	委員会等	事務
/	教育開発センター	/	/

別紙 2

評価項目別教育評価実施主体一覧

評価項目別研究評価実施主体一覧

実施主体学科等欄の は、経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科、一般教育系、言語センター、アントレプレナーシップ専攻を表す。

大項目	中項目	小項目	観 点	実 施 主 体			
				学科等	センター等	委員会等	事務
1. 教育目的・目標の周知			a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			大学評価委員会	
2. 教員及び教育支援者	(1)教育課程遂行のために必要な教員の適切な配置	教員組織編成の基本方針の策定とそれに基づく教員組織編成	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点				総務課人事係
		教育課程遂行のための教員の確保	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点				総務課人事係
		教員組織の活動を活性化するための措置	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点				総務課人事係
	(2)教員の採用・昇任等の基準の策定とその適切な運用	教員の採用基準や昇任基準の明確化とその適切な運用	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			大学評価委員会	総務課人事係
		教育上の指導能力に関する評価を実施するための体制整備と機能の状況	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			大学評価委員会	総務課人事係
	(3)教員の教育活動を評価し、改善するための体制整備	教員の教育活動を評価するための体制の整備	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	大学評価委員会	総務課人事係 学務課教育課程改善係
		教員の教育活動の評価に基づきその質の向上を図るためのシステムの整備	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	大学評価委員会	学務課教育課程改善係
	(4)教育の内容と関連する研究活動の実施状況		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点				
	(5)教育支援者の適切な配置、教育補助者の適切な活用		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点				総務課人事係 学務課大学院係
	3. 学生の受入	(1)教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシーの明確化とその周知・公表	教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシーの明確化	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)
アドミッション・ポリシーの周知・公表			a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	入試課入学試験係
(2)アドミッション・ポリシーに沿った入学選抜の実施		アドミッション・ポリシーと入学選抜方法の整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	入試課入学試験係
		入学選抜の実施体制の適切さと入学選抜の公正な実施	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	入試課入学試験係

実施主体学科等欄の は、経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科、一般教育系、言語センター、アントレプレナーシップ専攻を表す。

大項目	中項目	小項目	観 点	実 施 主 体				
				学科等	センター等	委員会等	事務	
		アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入れの検証とその結果のフィードバック	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	入試課入学試験係	
	(3)志願者の増加を図るための措置の実施		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	入試課入学試験係	
	(4)上記(1)(2)(3)を機動的・専門的に実施するための措置		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	入試課入学試験係	
	(5)入学定員と比較した実入学者の適正数		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			入学試験委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	入試課入学試験係	
4.教育の内容及び方法(学士課程)	(1)教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容、水準、学位名の適切性	授業科目の適切な配置と教育課程の体系性の確保	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		教育課程の編成と授与する学位との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		授業内容と教育課程編成の趣旨との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		授業内容への研究活動の成果の反映	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		学生のニーズ、学術の発展動向、社会的要請に応じた教育課程の編成(インターンシップによる単位認定、編入学への配慮、博士前期課程との連携等)	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		単位の実質化への配慮	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		夜間主コースの学生に配慮した時間割の設定	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		(2)教育課程の展開にふさわしい授業形態、学習指導法の整備	各種授業形態(講義、演習、実験、実習等)の適切性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係
		教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	教務委員会 (学部)	学務課教務係	
		適切な内容のシラバスの作成とその有効活用	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部)	学務課教務係	

実施主体学科等欄の は、経済学科,商学科,企業法学科,社会情報学科,一般教育系,言語センター,アントレプレナーシップ専攻を表す。

大項目	中項目	小項目	観 点	実 施 主 体			
				学科等	センター等	委員会等	事務
	(3)適切な成績評価等の実施	自主学習及び基礎学力不足の学生に対する組織的な配慮	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点	教育開発センター	教務委員会(学部) 図書館運営委員会	学務課教務係 附属図書館総務係	
		成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(学部)	学務課教務係	
		成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性,厳格性の確保	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(学部)	学務課教務係	
		成績評価の正確性を担保するための措置	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(学部)	学務課教務係	
4.教育の内容及び方法(大学院課程)	(1)教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容,水準,学位名の適切性	教育の目的,学位に照らした教育課程の体系的編成と目的とする学問分野や職業分野における期待との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	
		教育課程の編成と授与する学位との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	
		授業内容と教育課程編成の主旨との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	
		授業内容への研究活動の成果の反映	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)		
		単位の実質化への配慮	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	
		夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	
		(2)教育課程の展開にふさわしい授業形態,学習指導法の整備	各種授業形態(講義,演習,実験,実習等)の適切性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係
	教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	
	適切な内容のシラバスの作成とその有効活用		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	
	(3)適切な研究指導の実施	教育課程の趣旨と研究指導の整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教務委員会(現代商学専攻)	学務課大学院係	

実施主体学科等欄の は、経済学科, 商学科, 企業法学科, 社会情報学科, 一般教育系, 言語センター, アントレプレナーシップ専攻を表す。

大項目	中項目	小項目	観 点	実 施 主 体			
				学科等	センター等	委員会等	事務
		研究指導に対する適切な取組(複数教員による指導体制や研究テーマ決定に対する適切な指導等)の実施	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (現代商学専攻)	学務課大学院係
		学位論文に関する指導体制の整備	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (現代商学専攻)	学務課大学院係
	(4)学生の研究意欲を刺激するための制度の創設		a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (現代商学専攻)	学務課大学院係
	(5)適切な成績評価等の実施	成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (現代商学専攻)	学務課大学院係
		成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性, 厳格性の確保	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (現代商学専攻)	学務課大学院係
		学位論文の適切な審査体制の整備	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (現代商学専攻)	学務課大学院係
		成績評価の正確性を担保するための措置	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (現代商学専攻)	学務課大学院係
4. 教育の内容及び方法(専門職大学院課程)	(1)教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容, 水準, 学位名の適切性	教育課程の体系的編成と教育の目的との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係
		教育課程の編成と授与する学位との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係
		授業内容と教育課程の編成の主旨との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係
		授業内容への研究活動の成果の反映	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係
		単位の実質化への配慮	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係
		夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係
		(2)教育課程と当該職業分野における期待との整合性	教育課程と当該職業分野における期待との整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)

実施主体学科等欄の は、経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科、一般教育系、言語センター、アントレプレナーシップ専攻を表す。

大項目	中項目	小項目	観 点	実 施 主 体						
				学科等	センター等	委員会等	事務			
	(3)教育課程の展開にふさわしい授業形態、学習指導法の整備	教育内容の水 準と当該職業分 野における期待と の整合性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係			
		各種授業形態 (講義、演習、実 験、実習等)の適 切性	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係			
		教育内容に応じ た適切な授業方 法・形態の工夫	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係			
		適切な内容の シラバスの作成と その有効活用	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係			
		(4)適切な成績評価 等の実施	成績評価基準 等の組織的な策 定と学生への周 知	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係		
		成績評価基準 に従った成績評価 の実施。一貫性、 厳格性の確保	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係			
		成績評価の正 確性を担保するた めの措置	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (アントレプレナーシップ専攻)	学務課大学院係			
5. 教育の成果の 検証	(1)学生に身につけさせる 学力、資質・能力や養成す る人材像等についての方 針の明確化及びその達成 状況を検証・評価するた めの取組	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	学務課教務係 学務課大学院係				
		(2)単位取得、進級、卒業 (修了)の状況、資格取得 の状況、及び卒業論文(学 位論文)の内容・水準から 判断する教育の成果・効果 の検証	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	学務課教務係 学務課大学院係			
			(3)学生による授業評価の 結果等による教育の効果 についての学生自身の判 断の検討	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	学務課教務係 学務課大学院係		
				(4)卒業(修了)後の進路状 況の実績や修了生の終了 後の研究活動の実績によ る教育の効果の検証	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	学務課教務係 学務課大学院係	
					(5)卒業生(修了生)、雇用 主等の関係者からの卒業 生(修了生)の学力、資質 能力等に関する意見の聴 取、及びそれによる教育の 効果の検証	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			教務委員会 (学部) (現代商学専攻) (アントレプレナーシップ専攻)	学務課教務係 学務課大学院係
						6. 教育の質の向 上及び改善のた めのシステム	すべての大学 組織単位による教 育の全分野にわ たる自己評価体 制の整備	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター
a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点								教育開発センター	大学評価委員会	

実施主体学科等欄の は、経済学科,商学科,企業法学科,社会情報学科,一般教育系,言語センター,アントレプレナーシップ専攻を表す。

大項目	中項目	小項目	観 点	実 施 主 体			
				学科等	センター等	委員会等	事務
		学生の授業評価の分析と個々の教員へのフィードバック	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター	大学評価委員会	
		学外関係者の意見を大学の自己点検・評価に反映させる体制の整備	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			大学評価委員会	
		評価結果フィードバックするシステムの整備	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			大学評価委員会	
		評価結果に基づく個々の教員の授業内容等の改善への取組	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点			大学評価委員会	
	(2)教員,教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組	ファカルティ・ディベロプメントの組織的取組	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター		
		ファカルティ・ディベロプメントの効果の検証	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター		
		教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組	a 現在の状況 b 分析結果とその根拠理由 c 優れた点及び改善を要する点		教育開発センター		

別紙 3

国立大学法人小樽商科大学大学評価実施規程

国立大学法人小樽商科大学大学評価実施規程

(平成13年7月25日制定)

(目的)

第1条 この規程は、国立大学法人小樽商科大学(以下「本学」という。)における教育研究活動等の状況について自ら行う点検及び評価に基づく大学評価に関わる業務を行うことにより、教育水準の向上と研究活動の活性化を図り、かつ、本学の理念及び社会的使命の達成を積極的に推進することを目的とする。

(大学評価の種類)

第2条 前条の大学評価の種類は、次のとおりとする。

- (1) 自己評価(本学が自ら行う点検及び評価をいう。)
- (2) 外部評価(自己評価の結果について本学の職員以外の者が行う検証をいう。)
- (3) 認証評価(認証評価機関が行う評価をいう。)

(委員会等)

第3条 本学に、次の各号に掲げる事項を審議するため、小樽商科大学大学評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

- (1) 自己評価及び外部評価の基本方針並びに実施基準等の策定に関すること。
- (2) 外部評価を行う者の選考に関すること。
- (3) 認証評価への対応に関すること。
- (4) 自己評価及び外部評価に関する報告書の作成並びに公表に関すること。
- (5) その他大学評価に関する必要な事項

(組織等)

第4条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長 2名
- (2) 事務局長
- (3) 各学科及びアントレプレナーシップ専攻から選出された教員 7名
- (4) 経営協議会の学長指名委員のうちから選出された教員 1名

(委員の任期)

第5条 前条第3号及び第4号の委員の任期は、2年とし、1年ごとにその半数を改選する。

2 前項の委員に欠員が生じた場合は、これを補充し、その任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 委員会に委員長を置き、第4条第3号又は第4号に規定する委員のうちから選出する。

2 委員長は、委員会を招集し議長となる。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第7条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門部会)

第9条 委員会に、専門的事項を審議するため、必要に応じて専門部会を置くことができ

る。

(自己評価の実施組織)

第10条 自己評価の実施組織は、各学科及びアントレプレナーシップ専攻、事務局、附属図書館及び各種委員会等の学内組織(以下「自己評価実施主体」という。)とする。

(自己評価の実施事項)

第11条 自己評価の実施事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 大学の目的に関すること
- (2) 教育研究組織(実施体制)に関すること
- (3) 教育に関すること
- (4) 学生支援に関すること
- (5) 研究に関すること
- (6) 社会との連携、国際交流等の推進に関すること
- (7) 施設・設備に関すること
- (8) 財務に関すること
- (9) 管理運営に関すること
- (10) 情報公開等の推進に関すること
- (11) 安全管理に関すること
- (12) その他委員会が必要と認めた事項

2 自己評価実施主体が行う自己評価の実施事項及び当該事項に関する評価項目は、学外の意見を聴いて、委員会が定める。

(自己評価の実施等)

第12条 自己評価実施主体は、自己評価を定期的に行い、その結果を委員会に報告する。

2 委員会は、自己評価の結果について外部評価を実施するよう努めるとともに、自己評価及び外部評価に関する報告書を作成し、学部・大学院合同教授会に提出する。

3 委員会は、学部・大学院合同教授会の議を経て前項の報告書を公表する。

4 認証評価に対応するために必要な事項は、総務担当副学長がこれを統括する。

5 自己評価実施主体は、自己評価の結果、自ら改善を必要と判断したもの、又は委員会から改善が必要と指摘されたものについては、その改善の方策を講ずるものとし、その結果を委員会に報告する。

(事務)

第13条 委員会の事務は、企画・評価室が行う。

附 則

1 この規程は、平成13年8月1日から施行する。

2 この規程施行後、第4条第4号及び第5号に規定する最初の委員である者の任期は、第5条第1項の規定にかかわらず、委員の半数は平成14年3月31日までとし、他の半数の委員は、平成15年3月31日までとする。

3 小樽商科大学自己点検・評価実施規程(平成4年11月4日制定)は、廃止する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年2月7日から施行する。

自己点検・評価の実施事項及び評価項目

- 大学評価実施規程第11条第1項に規定する「自己評価の実施事項」に係る評価項目の解釈 -

1. 大学の目的

(1) 目的の明確化

教育研究活動を行うに当たっての基本方針，基本的な成果等の明確化
目的の学校教育法第52条との整合性
大学院の目的の学校教育法第65条との整合性

(2) 目的の周知・公表

教職員及び学生への周知
社会への公表

2. 教育研究組織（実施体制）

(1) 教育研究組織の構成と大学の目的との整合性

学部及びその学科の構成と学士課程における教育研究の目的との整合性
教養教育の体制整備と機能の状況
研究科及びその専攻の構成と大学院課程における教育研究の目的との整合性
全学的なセンタ - 等（言語センタ - ，情報処理センタ - ，ビジネス創造センタ - ，
教育開発センタ - ）の設置と教育研究の目的との整合性

(2) 教育活動の展開に必要な運営体制の整備とその機能の状況

教授会等の機能の状況
教務委員会等の組織の整備と機能の状況

(3) 教育研究組織の改革のための方策

3. 教育

(1) 教員及び教育支援者

教育課程遂行のために必要な教員の適切な配置
ア) 教員組織編成の基本方針の策定とそれに基づく教員組織編成
イ) 教育課程遂行のための教員の確保
ウ) 教員組織の活動を活性化するための措置
教員の採用・昇任等の基準の策定とその適切な運用
ア) 教員の採用基準や昇任基準の明確化とその適切な運用
イ) 教育上の指導能力に関する評価を実施するための体制整備と機能の状況
教員の教育活動を評価し，改善するための体制の整備
ア) 教員の教育活動を評価するための体制の整備
イ) 教員の教育活動の評価に基づきその質の向上を図るためのシステムの整備
教育の内容と関連する研究活動の実施状況
教育支援者の適切な配置，教育補助者の適切な活用

(2) 学生の受入

教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシー - の明確化とその周知・公表
ア) 教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシー - の明確化
イ) アドミッション・ポリシー - の周知・公表
アドミッション・ポリシー - に沿った入学者選抜の実施
ア) アドミッション・ポリシー - と入学者選抜方法の整合性
イ) 入学者選抜の実施体制の適切さと入学者選抜の公正な実施

ウ) アドミッション・ポリシー - に沿った学生の受入れの検証とその結果のフィードバック

志願者の増加を図るための措置の実施

上記(1)(2)(3)を機動的・専門的に実施するための措置

入学定員と比較した実入学定員の適正数

(3) 教育の内容及び方法

(学士課程)

教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容，水準，学位名の適切性

ア) 授業科目の適切な配置と教育課程の体系的確保

イ) 教育課程の編成と授与する学位との整合性

ウ) 授業内容と教育課程編成の趣旨との整合性

エ) 授業内容への研究活動の成果の反映

オ) 学生のニーズ，学術の発展動向，社会的要請に応じた教育課程の編成（インターンシップによる単位認定，編入学への配慮，博士前期課程との連携等）

カ) 単位の実質化への配慮

キ) 夜間主コースの学生に配慮した時間割の設定

教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備

ア) 各種授業形態（講義，演習，実験，実習等）の適切性

イ) 教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫

ウ) 適切な内容のシラバスの作成とその有効活用

エ) 自主学習及び基礎学力不足の学生に対する組織的な配慮

適切な成績評価等の実施

ア) 成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知

イ) 成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性，厳格性の確保

ウ) 成績評価の正確性を担保するための措置

(大学院課程)

教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容，水準，学位名の適切性

ア) 教育の目的，学位に照らした教育課程の体系的編成と目的とする学問分野や職業分野における期待との整合性

イ) 教育課程の編成と授与する学位との整合性

ウ) 授業内容と教育課程の編成の主旨との整合性

エ) 授業内容への研究活動の成果の反映

オ) 単位の実質化への配慮

カ) 夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定

教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備

ア) 各種授業形態（講義，演習，実験，実習等）の適切性

イ) 教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫

ウ) 適切な内容のシラバスの作成とその有効活用

適切な研究指導の実施

ア) 教育課程の趣旨と研究指導の整合性

イ) 研究指導に対する適切な取組（複数教員による指導体制や研究テーマ決定に対する適切な指導等）の実施

ウ) 学位論文に関する指導体制の整備

学生の研究意欲を刺激するための制度の創設

適切な成績評価等の実施

ア) 成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知

- イ) 成績評価基準等に従った成績評価等の実施。一貫性，厳格性の確保
- ウ) 学位論文の適切な審査体制の整備
- エ) 成績評価の正確性を担保するための措置

(専門職大学院課程)

教育の目的に照らした教育課程の体系的編成とその内容，水準，学位名の適切性

ア) 教育課程の体系的編成と教育の目的との整合性

イ) 教育課程の編成と授与する学位との整合性

ウ) 授業内容と教育課程の編成の主旨との整合性

エ) 授業内容への研究活動の成果の反映

オ) 単位の実質化への配慮

カ) 夜間の授業を受講する学生に配慮した時間割の設定

教育課程と当該職業分野における期待との整合性

ア) 教育課程と当該職業分野における期待との整合性

イ) 教育内容の水準と当該職業分野における期待との整合性

教育課程の展開にふさわしい授業形態，学習指導法の整備

ア) 各種授業形態（講義，演習，実験，実習等）の適切性

イ) 教育内容に応じた適切な授業方法・形態の工夫

ウ) 適切な内容のシラバスの作成とその有効活用

適切な成績評価等の実施

ア) 成績評価基準等の組織的な策定と学生への周知

イ) 成績評価基準に従った成績評価の実施。一貫性，厳格性の確保

ウ) 成績評価の正確性を担保するための措置

(4) 教育の成果の検証

学生に身につけさせる学力，資質・能力や養成する人材像等についての方針の明確化，及びその達成状況を検証・評価するための取組

単位取得，進級，卒業（修了）の状況，資格取得の状況，及び卒業論文（学位論文）の内容・水準から判断する教育の成果・効果の検証

学生による授業評価の結果等による教育の効果についての学生自身の判断の検討

卒業（修了）後の進路状況の実績や修了生の終了後の研究活動の実績による教育の効果の検証

卒業生（修了生），雇用主等の関係者からの卒業生（修了生）の学力，資質・能力等に関する意見の聴取，及びそれによる教育の効果の検証

(5) 教育の質の向上及び改善のためのシステム

教育の状況について点検・評価し，その結果をフィードバックする体制の整備

ア) すべての大学組織単位による教育の全分野にわたる自己評価体制の整備

イ) 授業評価等による学生の意見の聴取と学生の評価結果を大学の自己評価に反映させる体制の整備

ウ) 学生の授業評価等の分析と個々の教員へのフィードバック

エ) 学外関係者の意見を大学の自己点検・評価に反映させる体制の整備

オ) 評価結果をフィードバックするシステムの整備

カ) 評価結果に基づく個々の教員の授業内容等の改善への取組

教員，教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組

ア) ファカルティ・ディベロプメントの組織的取組

イ) ファカルティ・ディベロプメントの効果の検証

ウ) 教育支援者及び教育補助者の資質の向上を図るための取組

4．学生支援

- (1) 履修指導，学習支援体制の整備
 - 科目履修や学科選択の際のガイダンスの適切性
 - 学習相談・助言の適切性
 - 学習支援に関する学生のニ - ズの把握
 - 特別な支援が必要な学生（留学生，障害者，社会人等）に対する学習支援の適切性
- (2) 学生の自主的学習，課外活動に対する支援体制の整備
 - 自主的学習環境の整備，及びその効果的利用
 - 課外活動に対する支援の適切性
- (3) 生活・就職面での支援体制の整備
 - 各種学生相談・助言のための体制整備
 - 生活・就職面での支援のための各種施策の実施
 - 特別な支援が必要な学生（留学生，障害者等）に対する生活支援
 - 生活・就職面での支援に関する学生のニ - ズの把握
 - 経済面での支援体制の整備

5．研究

- (1) 研究目的・目標の周知
- (2) 研究体制及び研究支援体制の整備
 - 研究体制の整備及び研究体制の整備に資する施策
 - 研究支援体制の整備
- (3) 研究の内容
- (4) 研究成果の教育への還元
- (5) 研究の社会（社会・経済・文化）的効果及び社会への還元
- (6) 研究の質の向上及び改善のためのシステムの整備
 - 組織としての研究活動等及び個々の教員の研究活動の評価体制の整備
 - 評価結果を研究活動等の質の向上及び改善の取組に結び付けるシステムの整備

6．社会との連携，国際交流等の推進

- (1) 地域社会等との連携・協力，社会サービス等に係る具体的方策
- (2) 産学官連携の推進に関する具体的方策
- (3) 地域の公立大学等との連携・支援に関する具体的方策
- (4) 留学生交流その他諸外国の大学等との教育研究上の交流に関する具体的方策
 - 本学の特色を十分に生かした大学間交流協定の締結を促進するための具体的方策
 - 外国人留学生受け入れの量的拡大から質的充実への転換のための具体的方策
- (5) 教育研究活動に関連した国際貢献に関する具体的方策
- (6) 大学における国際開発協力活動の基盤整備及び学内における国際開発協力活動の理解増進及び体制の強化
- (7) 拠点・センターや国際援助機関（連携機関）との関係の強化
- (8) 分野別の国際開発協力戦略を構築するための措置

7．施設・設備

- (1) 教育研究に関わる施設・設備の整備と活用
 - 教育研究に関わる施設・設備の整備とその有効活用
 - 情報ネットワークの整備とその有効活用
 - 施設・設備の運用方針の明確化と学生及び教職員への周知

- (2) その他の施設・設備の整備と環境への配慮
- (3) 教育研究上必要な資料（図書，学術雑誌，視聴覚資料等）の整備とその有効活用

8．財務

- (1) 適切かつ安定した財務基盤の構築
 - 十分かつ適切な割合の固定資産・流動資産の確保
 - 過大でない債務の状況の確保
 - 大学運営ための十分な経常的収入の確保
 - 資産の効率的・効果的運用を図るための方策
 - 管理的経費を抑制するための方策
- (2) 適切な財務計画の策定とその履行
 - 適切な財務計画の策定と関係者への明示
 - 適切な収支の確保
 - 明示された方針に基づく適切な資源配分の実施
- (3) 財務諸表の公表と適切な監査の実施
 - 財務諸表の公表
 - 適切な会計監査の実施

9．管理運営

- (1) 管理運営体制及び事務組織の整備
 - 管理運営のための組織及び事務組織の規模と機能の適切さ
 - 効果的な意志決定の遂行という点から見た管理運営組織の適切さ
 - 運営組織への有識者・専門家の登用について適切な人材を得るための制度の構築
 - 特殊な能力・技能を持った事務職員を民間等から採用するための制度の構築
 - 事務の効率化のための措置
 - 学生，教職員，学外関係者のニーズの把握と管理運営への反映
 - 監事の適切な役割遂行
 - 管理運営に関わる職員の資質向上のための組織的取組
 - 国立大学間の自主的な連携・協力体制を構築するための方策
- (2) 管理運営に関する方針の明確化とそれに基づく諸規定の整備
 - 管理運営に関する方針の明確化とそれに基づく諸規定の整備
 - 適切な意思決定のための（大学の目的，計画，活動状況に関する）デ - タ・情報の蓄積とそれへの構成員のアクセスのためのシステムの構築
- (3) 教員の人事評価システムの構築
- (4) 柔軟で多様な事務職員の人事制度の構築，教職員の勤務環境の整備
- (5) 大学の総合的な状況に関する自己点検・評価の実施とその結果の公表
 - すべての大学組織単位による自己点検・評価実施体制の整備
 - 自己点検・評価結果の学生，教職員及び社会への公表
 - 自己点検・評価結果の外部の者による検証を実施するための体制の整備
 - 評価結果をフィ - ドバックするシステムの整備

10．情報公開等の推進

- (1) 大学情報の積極的な公開・提供
- (2) 情報公開及び広報活動の推進のための体制の整備・充実
- (3) 社会のニーズに適切に対応した効果的な広報戦略の策定

11. 安全管理

- (1) 労働安全衛生法等を踏まえた安全管理・事故防止に関する具体的方策の策定・実施
- (2) 学生・教職員の安全確保等に関する具体的方策の策定・実施

